

**広島市北部地区学校給食センター（仮称）等
新築工事・管理運営事業**

審査講評

令和5年10月31日

**広島市公共施設整備等事業者選定審議会
（広島市北部地区学校給食センター（仮称）等新築工事・管理運営事業者選定部会）**

— 目 次 —

第 1	審査の体制	1
第 2	選定委員会の開催経過	1
第 3	審査の手順	2
第 4	審査の結果	3
1	入札参加資格審査（第一次審査）	3
2	提案内容審査（第二次審査）	3
3	総合評価	7
4	審査講評	7
5	総評	9
	【参考資料】落札候補者の提案概要	10

第1 審査の体制

広島市（以下「市」という。）は、「広島市北部地区学校給食センター（仮称）等新築工事・管理運営事業（以下「本事業」という。）」の落札者を決定するに当たり、最も優れた提案を行った入札参加者（以下「落札候補者」という。）を選定するため、学識経験を有する者等で構成する「広島市北部地区学校給食センター（仮称）等新築工事・管理運営事業者選定部会（以下「選定審議会」という。）」を設置した。

選定委員の構成は、次に示すとおりである。

【選定審議会の委員 9名】

区分	委員氏名	所属等
給食経営管理	渡部 佳美	広島女学院大学 人間生活学部 管理栄養学科 教授
食育推進	山本 妃奈子	広島文教大学 人間科学部 人間栄養学科 准教授
食品衛生	北原 明生	一般社団法人広島市食品衛生協会 次長
建築	栗崎 真一郎	広島工業大学 工学部 建築工学科 教授
財務	橘 俊夫	橘公認会計士事務所 公認会計士
保護者	西林 昌則	広島市PTA協議会 前安佐北区会長
学校関係	坂口 由紀子	広島市立三入小学校 校長
学校関係	宮奥 紀恵	広島市立三入中学校 校長
地域活性	松尾 雄三	広島市企画総務局地域活性化調整部長

第2 選定審議会の開催経過

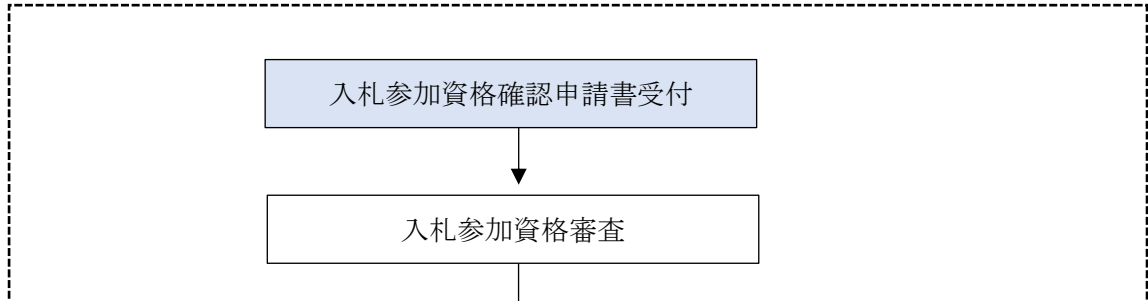
選定審議会は計3回開催した。開催日と主な議題は次に示すとおりである。

区分	開催日	主な議題
第1回	令和5年5月23日（火）	部会長及び副部会長の選任、落札者決定基準案の審議
第2回	令和5年10月23日（月）	総合審査（プレゼンテーションによる提案内容の評価）、落札候補者の選定
第3回	令和5年10月31日（火）	答申案の審議

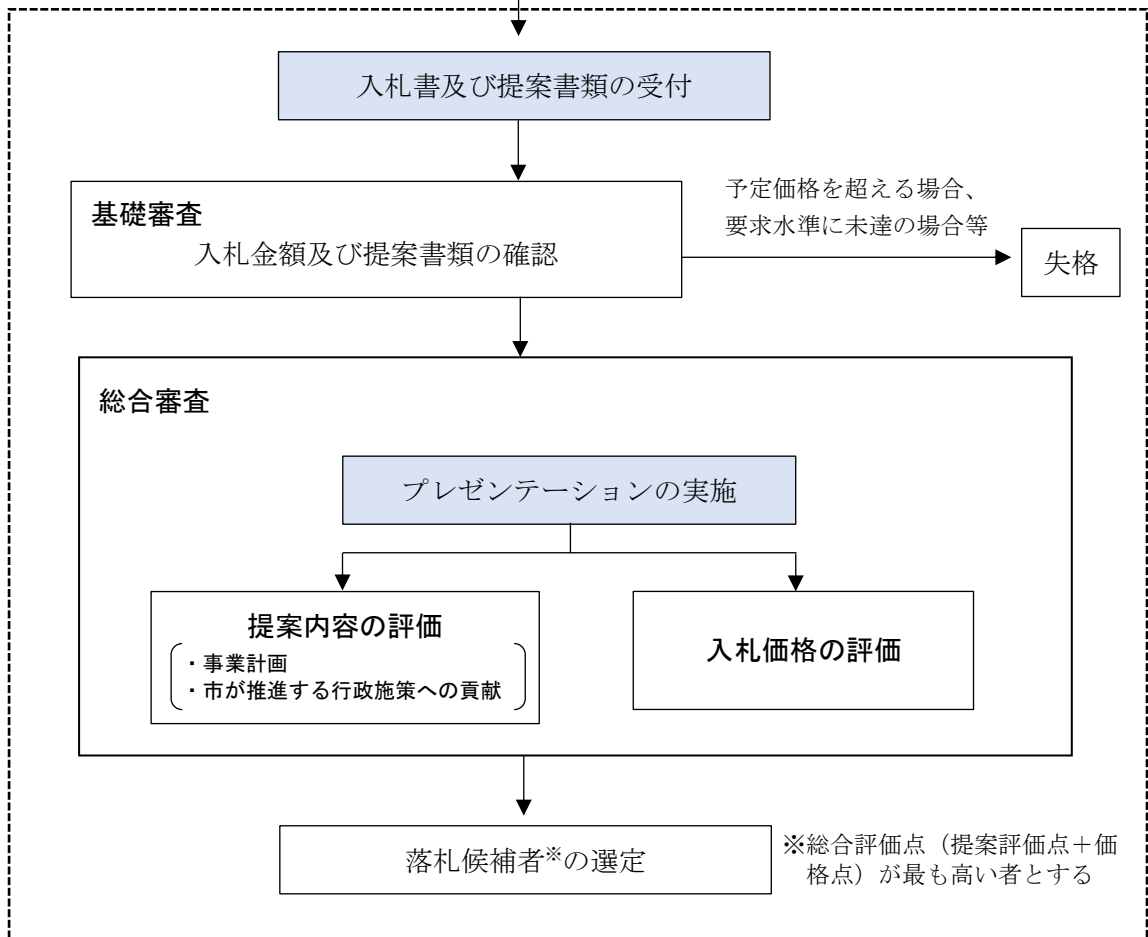
第3 審査の手順

落札候補者の選定は以下に示す手順により行った。

1 入札参加資格審査（第一次審査）



2 提案内容審査（第二次審査）



第4 審査の結果

1 入札参加資格審査（第一次審査）

下記の3グループから入札参加資格確認申請書の提出があり、市は入札参加者が備えるべき参加資格要件（入札説明書に規定されている要件）を満たしていることを確認し、全てのグループの入札参加資格が認められることについて選定審議会は報告を受けた。

なお、審査の公平性を確保するため、受付順により、入札参加者に対してグループ数が分からないよう次のとおり受付番号を付し、グループ名や企業名を伏せて審査を行った。

【入札参加者】

- ・ 受付番号 21 のグループ
- ・ 受付番号 42 のグループ
- ・ 受付番号 63 のグループ

2 提案内容審査（第二次審査）

(1) 基礎審査

ア 入札金額の確認

市は入札書に記載された入札金額が3グループとも予定価格を超えていないことを確認し、選定審議会は報告を受けた。

※予定価格：14,488,597,000円（消費税及び地方消費税相当額を除く。）

このうち、施設整備業務の予定価格は4,478,182,000円（消費税及び地方消費税相当額を除く。）、維持管理・運營業務の予定価格は10,010,415,000円（消費税及び地方消費税相当額を除く。）。

イ 提案書類の確認

市は3グループから提出された提案書の内容が、以下の(ア)及び(イ)を満たしていることを確認し、選定審議会は報告を受けた。

(ア) 要求水準書で求めている各業務及び施設性能の水準

(イ) 入札説明書に示す項目及び様式集に示す提案書類の作成に関する条件

(2) 総合審査

ア 提案内容の評価[提案評価点]

提案内容の評価に当たっては、(ア)「事業計画の評価」に、(イ)「市が推進する行政施策に係る入札参加者の取組状況及び提案に対する評価」を加えるものとし、各提案について次ページに示す判断基準により審査を行った。

提案評価点 = 事業計画の評価点 + 市が推進する行政施策に係る入札参加者の取組状況及び提案に対する評価点

(7) 事業計画及び市が推進する行政施策に係る提案の評価

評価	判断基準	得点化方法
A	極めて優れた提案である。	配点×1.00
B	優れた提案である。	配点×0.75
C	具体的かつ評価できる提案である。	配点×0.50
D	評価できる提案である。	配点×0.25
E	評価に値する提案ではない。	配点×0.00

(イ) 市が推進する行政施策に係る入札参加者の取組状況の評価

評価項目	評価基準	配点
障害者の雇用	障害者雇用率が 2.3%を超えて 3.45%未満の場合	+1 点
	障害者雇用率が 3.45%以上で 4.6%未満の場合	+2 点
	障害者雇用率が 4.6%以上の場合	+3 点
	過去 2 年度分の障害者雇用納付金を 1 年度分でも滞納していた場合	-2 点
男女共同参画・子育て支援の推進	次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定義務がある企業が同計画を策定していない場合	-1 点
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定を受けている場合	+1 点
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく「一般事業主行動計画」の策定義務がある企業が同計画を策定していない場合	-1 点
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定を受けている場合	+1 点

提案内容の評価点の結果は、以下のとおりである。

【提案評価点の算出結果】

評価項目		配点	21 グループ	42 グループ	63 グループ
全般	①事業実施方針	6点	3.58点	4.42点	4.34点
	②事業の継続性	6点	4.08点	3.50点	3.09点
	③事業スケジュール遵守のための工夫等	8点	5.23点	5.34点	5.45点
	④リスク対応の方針	4点	2.56点	2.44点	2.56点
	⑤ライフサイクルコストの縮減等	7点	4.16点	4.36点	4.70点
	⑥災害時における機能維持	4点	2.33点	2.44点	2.78点
	小計	35点	21.94点	22.50点	22.92点
安全管理・衛生管理	①安全衛生	10点	6.72点	7.05点	6.70点
	②アレルギー対応	10点	6.44点	7.06点	7.16点
	③従業員教育	5点	3.47点	3.61点	3.47点
	小計	25点	16.63点	17.72点	17.33点
効率的な調理環境	①配置・動線計画	5点	3.33点	3.33点	3.19点
	②調理環境	5点	3.47点	3.47点	3.33点
	小計	10点	6.80点	6.80点	6.52点
適切な温度管理による安全な配送	①配送計画	10点	6.42点	6.94点	6.06点
	小計	10点	6.42点	6.94点	6.06点
環境負荷の低減	①施設整備時の配慮	5点	2.92点	3.61点	3.75点
	②維持管理運営時の配慮	10点	5.83点	7.92点	6.80点
	③環境負荷への配慮	5点	3.47点	3.47点	3.33点
	④近隣住民等への配慮	5点	2.64点	3.47点	3.47点
	小計	25点	14.86点	18.47点	17.35点
食育に関する情報発信・地域活動等への貢献(附帯事業)	①整備計画	10点	5.56点	8.20点	6.80点
	②取組内容	10点	5.70点	8.06点	6.94点
	③管理運営	5点	2.22点	3.89点	3.75点
	小計	25点	13.48点	20.15点	17.49点
施設を活用した自主事業(任意)	①事業提案	5点	2.08点	4.17点	4.31点
	小計	5点	2.08点	4.17点	4.31点
市が推進する行政施策に係る入札参加者の取組状況及び提案の評価	①取組状況の評価	5点	-1.00点	0.00点	0.00点
	②提案の評価	10点	6.25点	6.94点	7.50点
	小計	15点	5.25点	6.94点	7.50点
提案評価点		150点	87.46点	103.69点	99.48点

イ 入札価格の評価【価格点】

各グループの入札価格を対象として、次に示す方法に基づき価格点を付与した。

$$\text{入札金額} - \text{目的外使用料等の納付提案額} = \text{補正後入札価格}$$

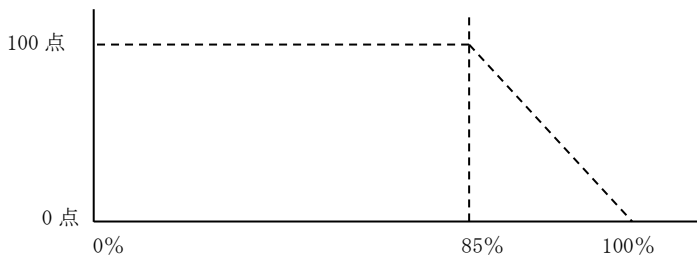
①補正後入札価格の入札率が85%以下の場合は、価格点は満点（100点）とする。

②（85% < 補正後入札価格の入札率 ≤ 100%）における価格点は次式による。

$$100 \text{ 点} \times \left[1 - \frac{(\text{入札率} - 85)}{15} \right]$$

（注）有効桁数は、小数点以下第2位とし、小数点以下第3位を四捨五入とする。

【参考】価格点のイメージ



価格点の結果は、以下のとおりである。

【価格点の算出結果】

区分	21 グループ	42 グループ	63 グループ
入札金額 (a)	12,299,910,620 円	14,486,542,425 円	13,393,714,075 円
目的外使用料等の納付提案額 (b)	1,289,107 円	55,954,270 円	451,258,576 円
補正後の入札価格 (a-b=c)	12,298,621,513 円	14,430,588,155 円	12,942,455,499 円
予定価格 (d)	14,488,597,000 円		
入札率 (c/d)	84.88%	99.60%	89.33%
価格点	100.00 点	2.67 点	71.13 点

3 総合評価

選定審議会は、次表のとおり総合評価点を算定し、21 グループを落札候補者として選定した。

区分	21 グループ	42 グループ	63 グループ
提案評価点	87.46 点	103.69 点	99.48 点
価格点	100.00 点	2.67 点	71.13 点
総合評価点	187.46 点	106.36 点	170.61 点
順位	1	3	2

4 審査講評

(1) 全般

- 各グループとも、全ての児童生徒により安全でよりおいしい給食を提供するための事業実施方針、事業スケジュール遵守のため工夫やリスク対応の方針などに関する具体的な提案が評価された。
- 21 グループは、代表企業の直近3事業年度における売上の上昇傾向や、財務諸表の分析等に基づく自己資本の蓄積状況から、事業の継続性を担保できる点が高く評価された。

(2) 安全管理・衛生管理

- 各グループとも、HACCPの考え方に基づく衛生管理の徹底が図られ、施設内の汚染区域・非汚染区域等の明確なゾーン分けや食材搬入から調理・配送までが交差汚染のないワンウェイ動線となっているほか、独立したアレルギー対応調理室の整備や調理従事者への研修の充実など安全性に対する具体的な提案が評価された。

(3) 効率的な調理環境

- 各グループとも、効率的な作業動線を考慮した諸室の配置や機械化・システム化された調理設備の導入に対する提案が評価された。
- 21 グループ及び42 グループは、主要な調理設備を複数台整備し、効率的かつ安定的な調理作業を可能とする提案が高く評価された。

(4) 適切な温度管理による安全な配送

- 各グループとも、事故多発ポイント等を踏まえた配送マニュアルや予備車の配備、配食量に合わせた食缶の調達など適温給食の提供に対する提案が評価された。
- 42 グループは、渋滞や事故などの不測の事態が生じた場合であっても配送時の遅れを最小限に抑えることを可能とする具体的な提案が高く評価された。

(5) 環境負荷の低減

- ・ 各グループとも、建設場所が住居地域であることを踏まえた建物や配送車からの騒音・振動・臭気等への対策、工事内容等に係る近隣住民への説明や苦情対応、省エネルギー・再生可能エネルギー設備の導入などにエネルギー消費量の削減に向けた具体的な提案が評価された。
- ・ 42 グループは、騒音・振動の発生源となる機器の配置位置等や臭気の排出口の向きに係る工夫、環境・景観に配慮した植栽などに対する具体的な提案が高く評価された。
- ・ 63 グループは、周辺環境の特性を踏まえ、工事車両の搬出入に伴う交通渋滞等への対応など施設整備時における近隣への影響を最小限に抑えるための具体的な提案が高く評価された。

(6) 食育に関する情報発信・地域活動等への貢献（附帯事業）

- ・ 各グループとも、単なる調理場ではなく、食に関する情報発信や地域住民の様々な活動に利用できる附帯機能を備えた具体的な提案が評価された。
- ・ 42 グループは、隣接する多目的交流広場とつながる間口を人々のつながりを生むスペースとして広く確保し、利用者のアイデア次第でフレキシブルに諸室等を組み替えることが可能となる施設を計画するとともに、地域と連携して多世代が集い憩える場となるような取組内容や利用者の利便性に配慮した管理運営方法など具体的な提案が高く評価された。

(7) 施設を活用した自主事業（任意）

- ・ 各グループで、活用の度合いに濃淡があるものの、学校給食で使用しない時間帯に調理場等を活用し、市の基本構想・基本計画に基づく施策の実現に資する事業の実施に向けた具体的な提案が評価された。
- ・ 42 グループは、地元飲食業者のニーズを踏まえた飲食事業支援、地域の子どもの食事支援に向けた具体的な提案が高く評価された。
- ・ 63 グループは、「高齢者が安心して暮らせる持続可能な地域共生社会の実現」に資する取組として、在宅高齢者の健康増進や健康寿命の延伸の支援に向けた具体的な提案が高く評価された。

(8) 市が推進する行政施策に係る提案

- ・ 各グループとも、設計・建設期間から維持管理・運営期間を通じた市内事業者への優先発注や、市内在住者及び既存の学校給食施設の従事者の積極的な雇用など、地域経済の振興を図るための具体的な提案が評価された。また、野菜・食品くずの堆肥化や、野菜下処理で可食部を増やす取組、野菜くずや規格外野菜の活用など、食品ロスの削減に向けた具体的な提案が評価された。
- ・ 63 グループは、地産地消の促進による地域経済の活性化に関する具体的な提案がなされている点が評価された。

5 総評

本事業に対しては、3 グループから提案書類の提出があった。いずれのグループの提案も、これまでの各事業者の実績に基づくノウハウや創意工夫に加え、旧安佐市民病院跡地全体の活用コンセプト（「若者や子育て世代を中心に広域から多世代が集い憩える交流の場」）の実現に向けた工夫が盛り込まれており、市が本事業で求める要求水準を満たした内容が示されていた。

各事業者の提案書類は、いずれも本事業に対する意気込みを感じさせるものであった。また、提案書類の作成に当たっての努力については高く評価しており、各事業者の方々に敬意を払うとともに感謝する次第である。

各事業者からの提案に対し、選定審議会では、落札者決定基準に基づき、厳正かつ公正に審査を行った。提案評価点では、42 グループが 103.67 点と最も高い評価を得ており、特に食育に関する情報発信・地域活動等への貢献（附帯事業）に対する意欲的な取組を高く評価した。価格評価点では、21 グループが 100.0 点と最も高い評価を得た。提案評価点と価格点の総合評価により、21 グループを落札候補者として選定した。

今後、21 グループは事業契約を締結し、長期間にわたる事業を実施することとなる。その際に、市と 21 グループは、本事業がより安全でおいしい給食の提供、そして旧安佐市民病院跡地全体の活用コンセプトの実現に重要な役割を担うものであることを再認識し、官民パートナーシップの精神に基づいた協議を行い、本事業の円滑な推進に努めていただきたい。

その際、本事業をさらに充実したものとするため、次の事項に留意して事業を実施されるよう、選定審議会として要望する。

- ・ 建設敷地が住居地域であることを踏まえ、建設工事中の近隣への影響を最小限に抑えるよう工夫するとともに、維持管理運営期間中の騒音・振動対策、臭気対策等を施設の南側の住居地域に最大限配慮して徹底すること。
- ・ 建設敷地周辺の交通量事情、東西両側が近隣の小・中学校の通学路であることを踏まえ、事業期間を通じて歩行者の安全対策を徹底するとともに、適切な渋滞対策を講じること。
- ・ 旧安佐市民病院跡地全体の活用コンセプトの実現に向けて、多目的交流広場と接する敷地を始めとする給食センター建物西側敷地を最大限活用して、若者や子育て世代を中心に多世代が集える憩いの場となるよう整備計画の充実を図り、多目的交流広場の整備事業者と連携して切れ目のない敷地整備を実現すること。
- ・ 食育に関する情報発信・地域活動等への貢献（附帯事業）に関する取組（①地域住民の交流・活動拠点、②子ども連れの家族がゆっくり楽しめる施設、③安佐北区全域から親子連れが集まる施設、④地域による主体的な取り組みを行える小規模な産直市場、⑤地域の賑わいの創出や経済効果）がより充実し効果的なものとなるよう、施設整備時のみならず、その後の維持管理・運営時においても不断の努力を重ねること。
- ・ 給食センターの開場時はもとより、閉場時においても、多目的交流広場や諸室等の利用者が気軽に共用エリア、食育エリアを利用できる管理・運営方法を実現すること。

【参考資料】

落札候補者の提案概要

[安全管理・衛生管理]

- ・ 運營業務責任者を中心としたHACCPチームを構成し、「HACCPに基づく高水準の衛生管理」を行う。
- ・ 重層的なモニタリングによる高度な衛生管理を実現する。
- ・ アレルギー事故を防止するため、厳重な8段階チェックを行う。

[効率的な調理環境]

- ・ 工程の順番に沿った合理的なゾーニングや複数の動線確保により作業の効率化を図る。
- ・ 食材別や処理別の標準作業時間などに基づく独自のデータベースから考察した最適な人員配置を行うとともに、作業負担軽減と調理をサポートする機械化・システム化された機器を導入する。
- ・ 育児補助金制度やフレキシブルな働き方を可能とする雇用形態の整備など、調理従事者が働きやすい労働環境を整備する。

[適切な温度管理による安全な配送]

- ・ 環境及び安全に配慮したハイブリット車両を導入するほか、配送ルート上及び各学校内における運転注意ポイント等を取りまとめたマニュアルを作成する。
- ・ 保温性・保冷性に優れ、かつ衛生性に優れた二重食缶を採用する。

[環境負荷の低減]

- ・ 施設整備時には、交通誘導員の常駐や車両搬出入制限により周辺住民の安全確保を図るとともに、低騒音・低振動機器の導入や徹底した粉塵対策等の環境対策を行う。
- ・ 維持管理運営時には、騒音及び臭気の発生源に対して適切な対策を行うことで良好な住環境を維持するとともに、従来の給食センターには見えない親しみのある建物デザインとするほか、近隣と一体的な景観を形成するために外構の調整を行う。
- ・ 給食センターの屋根面に太陽光発電システムを設置し、積極的に再生可能エネルギーを利用して環境負荷の低減に貢献する。

[食育に関する情報発信・地域活動等への貢献（附帯事業）]

- ・ 自由度の高いオープンスペースや開放的なデッキテラスなど、多目的な利用が可能な諸室等を整備する。
- ・ 安佐市民病院跡地全体の活用コンセプトにおける「食育発信拠点としての機能も備えた給食センター」を実現する取組として、施設見学、調理の疑似体験、親子調理体験、職場体験などを企画するとともに、諸室等の更なる活用に向けた取組として様々な世代が交流できる各種料理教室を計画する。

[施設を活用した自主事業（任意）]

- ・ 学校給食の調理で使用しない夏期休業中に、調理場を活用した自主事業として広島県産の瀬戸内レモンを使用した「手作りレモンジャム」を製造する。

[学校給食センターの外観イメージ]



[多目的な利用が可能な諸室等の内観イメージ]

- ・ 一般市民等が自由に入出入りして利用できるオープンスペース



- ・ 料理教室での使用や食のイベント等で一時的な食事提供が可能となるキッチンスタジオ



※各パースは提案時のイメージであり、今後の設計等により変更が生じる可能性があります。